

335-B地区第68回年次大会

RECOLLECTION



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 335-B OFFICIAL PUBLICATION

No. 271

2022
June 27



ゆらあい

ライオンズクラブ国際協会335-B地区広報誌

Service From the Heart



335-B地区専用
アプリQRコード

2021~2022 335-B地区 地区ガバナー スローガン

KAIZEN

~未来を拓く~



地区ガバナー 正岡 章

KAIZEN

335-B地区第68回年次大会 2022年4月24日

代議員会・式典 大阪国際会議場 地区ガバナー晩餐会 リーガロイヤルホテル大阪



【大会式典 正岡地区ガバナー挨拶並びに年次報告より】

今日は、足元の悪い中、最近では見ることのできなかつたたくさんのメンバーにお集まりいただきありがとうございます。感無量です。

昨年7月から地区ガバナーを拝命しましたが、直ぐに新型コロナウイルス感染拡大により、地区ガバナー公式訪問は23ゾーンの内、ゾーン合同例会が開催できたのは2つのゾーンだけでした。その代わり感染が収まった11～12月、クラブ例会訪問を積極的に行いました。1月になり、再度感染が拡大し活動を縮小せざるを得ない状況になりました。

そのような中であつても、地区内にわたしが一番に目指していた「クラブライフを楽しく過ごそう」が見えてきました。クラブ例会訪問を行って、色々な方とお話をさせていただいていると「いい顔しているな」「楽しそうにしているな」「一生懸命にやってくれているな」と感じる時こそが、わたしの幸せな時でした。

そして、会員減少に歯止めをかけ会員数を上向きになるよう活動してまいりました。人が多く集まり楽しくしていたら、またここにいい人が集まる、いい奉仕ができると思っています。

地区ガバナースローガンは「KAIZEN」。地区・クラブでも何か一つでもできる改善をお願いしてまいりました。

今年度の3つの最重要課題は「1. 会員満足度の向上」「2. 新クラブの結成・会員増強」「3. ライオンズクラブのPRとIT化」です。

クラブアシスト委員会では、「クラブを楽しく、会員が辞めたくないクラブ作り、人を誘いたくなるようなクラブ作り」についてお願いしてまいりました。その中の一つが同好会です。クラブ・リジョンを越えて交流することを目的に現在10同好会が活動を開始しています。

BBQ大会は、メンバーだけでなく家族会員・家族・友人・入会希望者に参加してもらえるよう企画しました。和歌山のBBQは250名、大阪は520名ほどの参加があり、皆さんのテーブルを回ると、とても楽しそうない顔していて、「やってよかった」と思いました。

GMAが始まり、単一クラブでは新クラブをスポンサーすることが難しくなってきたので、3年間でゾーンに1つの新クラブをと、活動してまいりました。現在、6つの支部、3つの新クラブ、支部結成予定は3クラブあります。

FWT委員会では、男女混成クラブの推進をお願いし、新たに10クラブが混成クラブになりました。

MC・IT委員会では、SNSを活用した公式チャンネルを開設しました。35準地区で335-B地区だけです。ライオンズクラブの奉仕活動の知名度の向上に大きな貢献を果たしたと思っております。そして、テレビ大阪・テレビ和歌山においてテレビCMを放映しました。「335-B地区公式アプリ」のダウンロードを是非お願いします。

GST委員会では、地区内メンバーにご協力をいただき、「友ヶ島一斉清掃」を行いました。友ヶ島は、大阪湾からのごみが漂着します。270名にご参加いただきました。

10月～11月は地区内の一斉清掃月間を設けました。123クラブ、1900名が参加しました。

キャビネット事務局では、会議資料のペーパーレス化、FAXを止めてメール配信に、会議はZoomで行うなどのKAIZENを行いました。

以上、ご挨拶と年次報告をさせていただきました。



地区ガバナー表彰

最優秀賞の2クラブをご紹介します

アクティビティ最優秀賞 箕面船場ライオンズクラブ

『箕面市献血DAY』

箕面船場LCは第2回の「箕面市献血DAY」を3月27日に実施。市内6会場の同時開催で多数の市民の皆さんに献血を広く呼びかけました。

- ① 阪急箕面駅前 ② 阪急桜井駅前 ③ みのおキューズモール ④ 粟生ショッピングセンター
- ⑤ 小野原渡辺クリニック駐車場 ⑥ 森町中央公園

当クラブだけでは人員不足のため、まず箕面青年会議所と共催。さらに箕面LCや箕面ロータリークラブにも後援をお願いしました。また市当局や諸団体からもご協力を頂戴して、従来の単発の献血と骨髄ドナー登録が全時的な事業として認知される端緒の役割を果たしました。

We Serveとは無償・無心で「奉仕する」「役に立つ」ことです。この意味で今回の荣誉ある受賞は、当ライオンズクラブのみならず関係者すべてのご理解・ご協力の賜物です。今後もメンバー内外の信頼・多様性を尊重し、充実したライオンズ生活を継続したいと思います。

会長 上田 義朗



クラブPR最優秀賞

東大阪河内ライオンズクラブ

CN60周年記念事業

『Myお米(ライオンズ米)を作るう!』

東大阪河内LCは今年度チャーターナイト60周年を迎えます。その記念奉仕活動といたしまして4月の苗床作りから田植え、そして10月16日・17日の稲刈りまでを八尾市内の田圃で行いました。

肥料やり、水量管理、虫除け、雑草とりに至るまで、刈り入れまでの手間は、どこか昔の懐かしさを思い出させてくれる作業でした。

20クラブのライオンメンバーそして地域の皆さまのお力をお借りし、汗水流して収穫された約450kgの【ライオンズ米】は、子ども食堂を開催している東大阪東LCを始め、リジョンの垣根を越えた池田LCへ募米として届けさせていただきました。

この活動が現状の児童健全育成を一層促進する一助になれば幸いです。





1年を振り返って 地区ガバナー 正岡 章

地区ガバナー就任に際してあれもこれもとたくさん進めたいことはありましたが、地区ガバナースローガン「KAIZEN」のもと「会員満足度向上」を第1目標に定め、「辞めたくないクラブ」「人を誘いたくなるクラブ」の運営をお願いしましたところ、多くのクラブが「ライオンズクラブは楽しい集り」に向かって改革を進めていただけたと思います。

第2目標は、新クラブ・支部結成でしたが、当初の目標である10クラブには到達できませんでした。しかしながら、交野おりひめLC・北摂未来LCの2クラブが結成され、それに加え結成に向けて準備中のクラブが数クラブあります。最終的には3年計画で23ゾーン全てに新クラブを結成したいと思いますので、退任以降も地区ガバナーをお支えし、微力ながら全面的に協力して参ります。

第3目標はPRとIT化。こちらはテレビコマーシャルや公式サイト・公式アプリを展開し、持続可能なPR強化ができました。IT化においてはキャビネット会議や各種委員会でのペーパーレス化とウェブ会議の併用により感染予防対策と遠隔地メンバーの負担軽減が図れたと思います。

結びに335-B地区の地区ガバナーとして皆様と共に過ごした1年は本当に感謝の1年でもありました。日本における最大規模を誇る335-B地区の益々の発展に少しでもお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに335-B地区の地区ガバナーとして皆様と共に過ごした1年は本当に感謝の1年でもありました。

日本における最大規模を誇る335-B地区の益々の発展に少しでもお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



キャビネット幹事 森田健一郎

地区役員・委員の皆様並びに全てのメンバーの方々には大変お世話になり心より感謝申し上げます。

特に、地区ガバナー公式訪問の会場設営とスケジュール調整については、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンの皆様のご尽力により日程通り実施できましたこと、そして各種コーディネーター、委員長が横の連携を強化しながら地区ガバナー方針実現に向けて活躍いただいたことは感動的でもありました。

この機会がなければ知らなかった事など、私自身が学ばせていただくことの多い1年となりましたが、「今できることを、一生懸命楽しくやろう!」という正岡地区ガバナーの1年に

参加できましたことは本当に嬉しく思います。

最後にキャビネット三役を支えてくれたキャビネット事務局の皆様にも感謝の気持ちをお伝えすると共に、次年度は津田地区ガバナーのもと松秋峰康が幹事職を執られます。私もメンバーとして応援して参りますので、一層のご声援とご協力をお願い申し上げます。



キャビネット会計 花房 博夫

1年間どっぷりライオンズクラブを全身で感じる事ができました。そこで改めて思ったことは「ライオンズクラブはこのままで良いのだろうか?」です。100年、50年前の事をそのまま続けていてライオンズクラブは継続し発展できるのか?私の答えはノーでした。数は間違いなく力だと私は思っています。会員を増やす事は絶対に必要です。そして若返りも必要です。現在の歴史と伝統を重んじるライオンズクラブに若い人達が魅力を感じて集まって来るとは考え難いです。やはりこれから50年・100年と歴史を積み重ねるには進化をしないといけないと思っています。但し、歴史と伝統を重んじつつ進化する事は簡単な事ではないでしょう。

皆様も私も大好きなこのライオンズクラブを残し、もっと魅力的な集まりにするためにも進化をしましょう! 1年間大変にお世話になりました。ありがとうございました。



地区ガバナーエレクト 津田 勝之

第68回地区年次大会代議員会に於きましてご信任頂き誠にありがとうございました。この「ゆうあい」紙が発刊される頃にはちょうど私はカナダ・モントリオール国際大会に赴き6月28日の閉会式にて次年度のシーハン国際会長より国際役員の一員として335-B地区ガバナーとして任命されていると思います。

シーハン国際会長のスローガンは「We Serve」。

メッセージは「together we can」皆んなでやれば出来る。

2022年7月よりパイロットプログラムとして取り入れている会員増強の手法GMAグローバルメンバーシップアプローチが全世界で始まる元年となります。

2022~2023年度の地区ガバナースローガンは「温故知新~つなぐ未来~」です。先人、先輩ライオンの熱き想いの中、今が有ることを感謝し学び、そして次代に即応する335-B地区をメンバー全員で目標に向かって取り組んでいきます。

皆様にはどうぞご協力いただきますようお願い申し上げます。共に335-B地区を盛り上げていきましょう。



次期第1副地区ガバナー 西尾 良典

第68回地区年次大会代議員投票におきましては、皆様方より次期第1副地区ガバナーのご信任を頂き深く感謝いたします。

さて、2年に亘る新型コロナウイルスとのグローバルな戦いは、私たちの生活や環境を変え、社会に様々な弊害を生みだしています。またウクライナの紛争等により世界の未来も、不確実性であふれています。ライオンズクラブにおいては、全国的にもその影響により会員の減少が著しく閉塞感が漂う中、この地区においては、今年度、正岡地区ガバナーがITやSNSを駆使し新しいアイデアで、新たな活動を創出した例も見られ、危機を好機ととらえニューノーマル社会を生み出そうとしています。また明るい話題として、L城阪勝喜の

国際理事立候補が決定され、そして関西大阪万博も控えており、今後さらにこの地区が活性化すると予想されます。

過去は変えられませんが、未来を変えることは我々にも可能です。

日本一を誇る335-B地区を形成された先人の恩恵に感謝し、その伝統と歴史を重んじつつ、次期第2副地区ガバナーと共に、次期地区ガバナーを支え、キャビネット構成員の皆様と共に地区及び各クラブの発展と未来のために誠心誠意努める所存です。

皆様方の温かいご指導ご鞭撻をお願い申し上げお礼のご挨拶といたします。



次期第2副地区ガバナー 古川 繁浩

第68回地区年次大会代議員投票におきまして、次期第2副地区ガバナーとして信任を頂き心より感謝申し上げます。

今年度は計画通り年次大会も開催され、正岡地区ガバナーのカラーを存分に示された楽しい年次大会になり、参加メンバーも大いに盛り上がりました。

「KAIZEN」を地区ガバナースローガンに掲げ、ペーパーレス化はもとより、ライオンズクラブの活動やPRもFacebook・TikTok・YouTube等のSNSを駆使して若者にも浸透したのではないのでしょうか。コロナ禍の中Zoomでの会議も当たり前になり、英知を注いだ運営と活動が益々広がっていくと思います。

次年度は津田地区ガバナーそして西尾第1副地区ガバナーと共に力を合わせ335-B地区を盛り立てて参ります。皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

Congratulations!

新クラブ結成おめでとうございます!!

5 R 2 Z 北摂未来ライオンズクラブ

結成年月日:2022年5月19日 チャーターナイト年月日:2022年6月21日
 クラブ三役:(会長)西村 紀彦 (幹事)山下 拓也 (会計)大西 慶和
 スポンサークラブ:5 R 2 Z 6クラブ(箕面L C・吹田L C・吹田東L C・能勢L C・箕面船場L C・吹田江坂L C)

チャーターメンバー29名

伊吹 美里・上原 望史・大石 共子・大西 慶和・大橋 樹・岡田 康秀・川内 卓司・河野 昭夫
 齋藤 謙・阪口 誠弘・貞方 建吾・柴田依久子・柴田 将大・田中 晋平・田和 渉平・豊池 優香
 中井 久子・中尾 亮太・中村 慶一・西尾 卓士・西村 紀彦・馬場慶次郎・平瀬 剛介・福崎 裕樹
 正岡 怜・村尾 拓也・村上 聡一・山下 拓也・山中 貴史

●どのような趣旨のもとに結成されたクラブですか?

他のライオンズクラブの諸先輩方の教を大切にしながらも、北摂未来L Cの特徴である若さを活かした新しい活動に取り組んだり、ライオンズクラブの新しい在り方を目指して結成しました。



●どのようなクラブにしていきたいと思っていますか。

クラブ会長テーマは「HAVE A DREAM LOVE SAVE THE EARTH」

夢を持つ、愛で地球を救おう

地球で課題を抱える環境のこと、人々のこと。

未来について真剣に考え、愛を持って解決に導いていく。

やりたいこと

①会員増強 ②ドネーションと新しい奉仕活動資金の獲得スキーム ③健康増進



6 R 2 Z 交野おりひめライオンズクラブ

結成年月日:2022年5月24日 チャーターナイト年月日:2022年6月19日
 クラブ三役:(会長)原田 重幸 (幹事)姫島 大介 (会計)山本 崇正
 スポンサークラブ:枚方L C 枚方中央L C 枚方ローズL C 枚方シニアL C

チャーターメンバー32名

荒幡 篤・石橋 晋一・伊藤 義弘・井上 幸司・上山 登子・梅田 哲雄・江頭 吉美・大川原和弘
 大橋 伸也・岡田 伴昌・小川 修平・苧原 宏之・川端 伸幸・菊田 大樹・北尾 良平・北本 佳見
 木原 慎一・隅田 宗克・谷垣 文人・常石順一郎・中 作平・永井 千尋・長田 秀史・中司 宏
 鍋島 弘樹・西尾 剛・原田 重幸・姫島 大介・前田 浩司・宮崎亜都子・山本 崇正・割石 充

●どのような趣旨のもとに結成されたクラブですか?

6 R 2 Z にあって存続クラブがない地域の交野市で新クラブ結成を目標に枚方4クラブが合同スポンサーとなり結成されたクラブです。



●どのようなクラブにしていきたいと思っていますか。

交野おりひめL C は地域に愛され地域の人々に必要とされるライオンズクラブを目指して活動していきたいと思っています。

【重点活動】

- ・自然環境に対する奉仕活動 ・地域の人々、他団体と連携して出来る奉仕活動
- ・メンバー同士が本音で友愛できる体質作り
- ・魅力あるクラブ活動による会員増強 ・入会して良かったと思えるクラブ体制作り
- ・クラブ独自の特色あるアクティビティを考え活気あるクラブとする



Congratulations!

クラブ支部結成おめでとうございます!!

大阪みおつくしL C「Sakura Mint 支部」

支部会長名:原 将之 結成年月日:2018年5月(合併前の大阪ゆとりL C)
 支部結成時会員数:8人 現在の会員数:9人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか?

子供たち向けの支援をしていきたいという有志が集まって結成された支部です。



●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

子供たちの夢の実現を支援していきような活動をしたいと思っています。勉学、スポーツ、職業など子供たちの将来実現したい夢が、現在の家庭環境や健康状態によって妨げられるようなことがないようにサポートしていきたいです。

現在はバディーウォークという団体の活動支援をしています。まず、そちらのイベント参加者の子供たちの夢実現のサポートをしていければと思っています。

また、これら支援が一時的なものとならないように、我々自身が強固な団体となる必要があると思っています。

そのためにもメンバー増強であったり、精力的な活動意思を発揮し続けていけるように、サクラミント支部に入ると楽しく意義のある活動をしていけると思っていただけのような環境や体制作りもきちんとしてまいります。



大阪大正L C「大阪大正子ども食堂支部」

支部会長名:古本 隆一 結成年月日:2021年7月15日
 支部結成時会員数:5人 現在の会員数:5人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか?

大阪西成L Cの解散により、それまで行ってきたアクティビティの“子ども食堂支援”を持続して行くため、大阪大正L Cの支部の結成となりました。



●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

7月にしなり子ども食堂の川辺康子さんも支部に入会され、コロナ禍が明けそうな今期から、西成子ども食堂の“つながりの家”の建設も決まり、これをキーステーションとして、335-Bライオンズクラブのネットワークを広げて孤立した子どもが一人でもいなくなるよう、子ども及び家庭の支援を行いたいです。



❁ 泉南中央 L C 「阪南支部」 ❁

支部会長名：櫻葉 修一郎 結成年月日：2021年11月2日
支部結成時会員数：8人 現在の会員数：6人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか？

阪南 L C の復活を目指すため、8R が一丸となり、そのスタートラインとして阪南支部を結成いたしました。

●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

まずは阪南支部を阪南 L C にするためには、一定数の人数が必要となります。まずはメンバーの確保です。

しかし、ただ同じ方向を向いていないメンバーを集めても、退会なども出て増強は上手くいかないと思っています。阪南市をよくしたい。阪南市が大好き。阪南市に恩返しをしたい。阪南市に奉仕をしたい。心からそう思ってくれる仲間を増やしたいと思います。

具体的には泉南中央 L C の活動として、阪南市での活動を増やしていきたいと考えています。例えばスタートとしては平和ポスター、献血などから始めていき、どんどん新規事業も考えて実行に移していきたいです。その活動を見て、同じことをしたいと思ってくれて入会してくれる仲間が出てくれると信じています。

まだまだ未熟な支部ですが、今後とも阪南支部へご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



❁ 和泉大阪 L C 「和泉大阪女子グルメ支部」❁

支部会長名：大上 規香 結成年月日：2022年3月13日
支部結成時会員数：11人 現在の会員数：18人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか？

クラブメンバー主催のグルメ会より相応しい方を集めて結成

●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

女性とグルメがテーマである支部ですので、女性ならではの視点と発想で、食事や食育にまつわるアクティビティを考えて行ってほしいと考えております。また、当クラブが男性クラブなので、アクティビティや式典等、女性のサポートいただきたい時に協力してもらう予定です。発足より直ぐに会員数が増えました。これは時代とマッチしたのだと思います。

非常に楽しそう。面白そう。という感想を多数いただいています。初代支部会長である L 大上がリーダーシップを発揮して引っ張っていても、支部のお手本になるようメンバー一丸となりサポートしていくつもりです。335-Bの皆様、友愛の精神で温かい応援をよろしくお願いいたします。



❁ 大阪銀橋 L C 「大阪旭支部」❁

支部会長名：上西 一 結成年月日：2022年1月25日
支部結成時会員数：5人 現在の会員数：5人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか？

業種、趣味など共通する理由による結成ではなく、会員個人が従来より奉仕活動に携わりたいとの思いはあったものの、それを実現する機会もありませんでした。

そんな中、会員共通の友人であり、大阪銀橋 L C 会長の西田民子さんからお誘いがあり、この度大阪銀橋 L C の支部として発足した次第です。

大阪銀橋 L C にとっては本年が15周年を迎える節目の年であること、また旭区には現在ライオンズクラブがなく空白地区であったことなどがその契機となり、誕生いたしました。

●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

発足間もないクラブ支部で会員数も最小の5名です。今後、支部会員数を増やしていきたいですが、まずは欲張らず、会員全員が結束して、小さなことでもよいので、地域に密着した活動を地道に行っていきたいと思っています。また、少人数なので、和気あいあいの雰囲気の中で、奉仕活動以外にもクラブ支部内外で会員相互の親睦を深める活動やイベントを企画していきたいと考えています。



❁ 大阪マーガレット L C 「大阪チューリップ支部」❁

支部会長名：野口 朋子 結成年月日：2022年3月15日
支部結成時会員数：5人 現在の会員数：5人

●どのような趣旨のもとに結成された支部ですか？

大阪マーガレット L C は、主に大阪市鶴見区を拠点とした活動が多く、(ex. 鶴見区民祭り、地域交通安全キャンペーン、子ども食堂への支援、鶴見区社会福祉協議会と連携して生活困窮者への支援等)以前からの地域ボランティア活動を通しての知人に声をかけて支部を結成しました。

「ちいさな奉仕」をスローガンとして、鶴見区の花のチューリップを支部名にしました。主に地域の奉仕活動に特化した支部として発足し、クラブの高齢メンバーや仕事を持つメンバー等の手助けとして、また、地域の方々とも繋がりが深い支部メンバーの活動を通してライオンズクラブの生きたPRIになると思います。

●どのような支部クラブにしていきたいと思っていますか。

元気に活動する、実践的な奉仕活動を中心にクラブメンバーとは違う視点で、地域社会の中での支援の必要な方々、行政の隙間になっているような支援への気付きや見つけを通して、新しい奉仕活動を増やして欲しいと思います。既に、今期区内でのコロナ禍における生活困窮者への支援品の袋詰め作業や献血奉仕活動にも参加していただきました。

次年度は、支援の必要な子供たちのための資金獲得事業として、バザーや募金活動を計画しています。しばらくの間はクラブ事業の協力をさせていただきますが、支部メンバーのお友達やお知り合いをお誘いして仲間を増やすと共に、支部独自の奉仕活動を見つけて提案し、共により良い奉仕活動ができるよう希望します。マーガレットもチューリップも宿根草で毎年根を掘り美しい花を咲かせます。大きなお花畑になりますように。



RC報告 『ライオンズクラブが新型コロナウイルスと共存するためにはどうあるべきか? ～リジョン活動を通じて思うこと～』



1RRC 藤井 修

今までのように人と人が対面で活動することが制限される昨今、新型コロナウイルスがもたらす弊害は健康被害のみならず、社会経済活動はもちろん、私たちが行うボランティア活動にも影響を及ぼしています。ボランティアにおいては、各クラブメンバーは知恵を絞り、今の状況下でも行える方法を模索し活動していただいていると思います。ですが、ここで目を向けていただきたいのは、今までのボランティア対象のみならず、コロナによって新たに“社会的弱者”が生まれてはいないかです。このような予期せぬ事態が発生した際には、そのことにより新たに生まれるボランティアを必要とする人々に目を向けることで私たちの必要性、存在意義が見えてくるのではないのでしょうか。これもひとつの“共存”ではないかと考えます。“例年通り”にとらわれず“今、必要とされるボランティア”を考えて活動していきたいと考えます。



2RRC 藤岡 宗

今年度2R16クラブのメンバーの皆様には大変お世話になりました。今年度も不安定な環境の中スタートしました。そんな中、2リジョン運営にご理解・多大なお力添えをいただいた事、心より感謝申し上げます。感染も少し落ち着き、感染症対策を上手く取り入れながら、アクティビティを再開してるクラブも多々あります。我々ライオンズクラブは、コロナの影響で例会・奉仕活動に大きな影響を受けました。また、そこから幾つか学ぶものがありました。

その一つがデジタル化の加速とSNSの普及です。例会・理事会・各種委員会はZoonと併用のハイブリッドが主流になってきました。メンバー間が希薄にならない様にLINE活用もされています。またキャビネットもアプリ普及に努めており、デジタルの苦手な会員に対してもサポートする取り組みも行っています。情報を共有する重要性。このデジタル化は、我々ライオンズクラブにとっては避けて通れないツールとなり加速していくと思います。

「奉仕活動」についても新たなワードが出てきました。景気回復に向け欧米並みの緩和に舵を切り始めています。とは言え、まだ「コロナ終息宣言」は出ておらず、まだ暫く続くかもしれません。地域で必要とされるアクティビティを的確に掴んでいくには行政や他団体との連携が増えていくかと思えます。

日本政府・府政の「感染症対策」のガイドライン遵守し、我々ライオンズクラブのモットー「We Serve」の精神のもと「友愛と寛容の精神」を持って前向きに地域社会のニーズに対応して行き、1日でも早く終息する事をお祈りします。



3・4RRC 佐野 圭一

新型コロナウイルス感染症を体験し、私たち人類の生活環境は激変しました。コロナ前とコロナ後を比較して、困っている人や弱い立場の人はどちらが多いでしょう?

答えは言うまでもありません。「ニーズのあるところに必ずライオンズクラブの存在意義がある」という言葉があります。まだまだ続くウィズコロナにおいて、ライオンズクラブへのニーズは今後も増え続けると思います。「コロナだから奉仕活動ができない」ではなく、新しい時代には新しい発想のアクティビティが必要です。メンバー各々が意識を変えて、旧習にとらわれず積極的に新しいことにもチャレンジしていく気持ちが大切だと思います。



5RRC 新井 正和

新型コロナまん延防止で始まり、8月には4度目の緊急事態措置により第1回地区ガバナー諮問委員会では中止、ZC2名と会食不要の職務訪問を行い、地区ガバナー公式訪問もWEB会議併用等の対策を行い、一部役員のみ参加で行いました。

各クラブにおいて、LINEの活用は進んでいますが、Zoom等で開催する会議のデジタル化の環境整備はまだ進んでいません。

今後、新型コロナ等の感染症と共存するためには、IT化を進める環境整備は必須で、WEB会議の活用や会食の削減を行う等、メンバーの健康・安全を守るための感染症対策を施した多様なクラブ運営・例会開催が必要と考えます。

また、献血奉仕等の継続と社会・地域の要望(マスク・アルコール・寄付金・避難所でのテント)の変化に対応していくべきと考えます。

今年度、新型コロナウイルスの蔓延防止期間の中、リジョン運営に両ZCはじめ各クラブメンバーに多大なご協力をご支援をいただき感謝申し上げます。



6RRC 堀 典之

現状把握のための勉強会の開催(体内向け)
世界的な動向を正しく理解し、国内の蔓延状況を把握するため、各クラブにおける感染予防対策の情報を共有化
リモート会議の推進
感染予防のみならず、時間とお金の節約のため
Withコロナの生活様式のアクティビティの開催
地域経済活性化のためのアクティビティを開催する



7RRC 福岡 俊治

新型コロナウイルスは3年半余り続いて、未だ終息の兆しが見えていない状況です。この間、日本においては、社会活動に規制がかかり、経済活動の縮小、市民の日常生活への多大な変化を余儀なく強いられています。

我々ライオンズクラブ会員は、自己の事業の発展のもとに、ライオンズクラブ活動「ウィーサーブ」があると思います。これまでの日本経済の変化と苦難を乗り越えて現在があるわけですから、今またコロナ禍の停滞と縮小の期を果敢に過ぎ、自己の経済基盤を安定させることが最重要だと思えます。それには

- ・会員の事業への情報、変化、意見の相互交換の必要性
- ・会員間のライバル意識を超えての相互理解を深めていく
- ・会員への経営ゼミの開催(会員の中で専門家などに講師になってもらう)等々

クラブ活動においては、従来の例会などにとらわれず、KAIZENしていく必要があると思えます。我々会員は、月に1~2回顔を突き合わせ、現状を話し、語り合うことでお互いの融和と友情を深めてきました。これは最重要なことであると思えます。しかし、コロナ禍時節、密を避け、接触制限しなければなりません。多人数が集まる例会、アクティビティ活動においても制限が必要ですが、工夫とKAIZENをし、次の事項を徹底して行えば、乗り越えていけるのではないのでしょうか。

- ・会員のワクチン接種の徹底
- ・出席時の体温測定、消毒、マスクの使用
- ・会場での密をさけるため、間隔をあけられる広さの会場の設定、時間の短縮
- ・Facebook、LINEの活用
- ・クラブ内にグループラインを設定
(グループラインの使用により、常に会員同士が簡単に連絡を取り合えるようにする)

アクティビティ活動については、

- ・広い地域を対象にせず、身近な小さな地域を選んで行う
- ・予防対策を徹底して行う

アクティビティはライオンズクラブの主目的であるので、活動を継続しなければ、我々の目的を失ってしまう。工夫と知恵を出し合い活動を実行することが大切である。

最後に、コロナ禍のために、会員数の減少があったり、活動が縮小されることがあってはならない。ライオンズクラブがコロナウイルスと共存し発展し続け、会員皆で知恵を出し合い、工夫を重ねていかなければならないと考えます。



8RRC 上村 義人

21世紀になって人類には大きな問題がたくさんありますが、環境問題、食糧危機、地域紛争、民主主義と権威主義の対立、貧困格差の拡大等、数えきれない諸問題を人類は乗り越えなければなりません。

そこで、パンデミックという日常生活を脅かす新たなクライシスが発生、ライオンズクラブの活動もその影響を多分に受けてきた3年間であります。

しかしながらコロナウイルスは、地球上では人類と常に付き合ってきたのは、過去から良く知られた事であり、新型という得体の知れない恐怖感、死亡するに至る罹患者が多くあるため、その対策に多くの努力が必要でした。その正体を知り、ライオンズクラブとしてその知識をメンバーと共有し、地域と共有し、その対策を通じライオンズ活動の1つとして取り入れる事が必要と思われる時代になったという事でしょうか。いずれにせよ正しい対処をすれば、100%とはいかないまでも日常生活を取り戻し、ライオンズ活動も可能だと信じるものであります。

RC報告 『ライオンズクラブが新型コロナウイルスと共存するためにはどうあるべきか?』 ～リジョン活動を通じて思うこと～



9RRC 太田 勉

新型コロナウイルス感染リスクが減少傾向となり、制限や制約のない日常を取り戻しつつあります。しかし、自粛生活の長期化により、感染リスク緩和後も「今の生活スタイルを維持したい」と思っている人が多くおり、withコロナのライフスタイルが定着し始めている様子がうかがえます。我々ライオンズクラブにおいても、メンバー一丸となり、今だからこそもう一度原点に戻り、「今、できることは何か?」について考え直す時期だと思えます。

我々ライオンズクラブの根幹は「We Serve」の精神です。奉仕活動をするクラブでなければ存在する意義がなくなってしまいます。今、必要とされている奉仕活動は何なのか、これまで実施してきた青少年育成・薬物乱用防止教育・献血・地域貢献などを見直し、充実した奉仕活動をすることで、より良い社会が実現できると思えます。



10RRC 楠本 健治

新型コロナウイルス感染者の拡大。それは独り日本国だけの問題ではなく、ほぼ全世界に拡散し、更にウクライナの戦場と重なり、誠に憂うつ極まりない日常は誰も同じ心境と存じます。昔から「止まない雨は無い」との例えもあり、早い終息を願うのはメンバー異口同音の願いに違いありません。

本年度10Rは10クラブ中5クラブが周年(60・55・50・45・40)を立派に迎えられました。周年行事や親睦ゴルフの開催には、各クラブ会長さんをはじめ担当役員はコロナ禍で例年に無いご苦労があったと存じます。

今、まん延防止法が解けて、経済活動の低下を避ける意味からもウィズコロナの態勢は致し方ない状況と考えます。終息まで各例会や行事には基本的な検温、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス等を怠る事なく活動を続けてください。

結びに正岡地区ガバナーはじめキャビネットの皆さん、ZC、各クラブ会長、メンバーの皆さんご支援ご協力心からお礼申し上げます。



11RRC 柘井 猛

コロナ禍で各クラブの運営にどのような変化が起こったのでしょうか。アクティビティ、例会開催の中止等、非常に厳しい活動制限を経験してきました。その中で、メンバーは「KAIZEN」に取り組まれたと思えます。今後もこの流れを止めずに、「今何が出来る」「できること」を取捨選択してやる必要があります。

旧来の習慣から脱却する必要性を感じているメンバーは多くいると思えます。今回のコロナ禍は我々に変容を迫っていて、今後のライオンズのありかたのきっかけを与えてくれたと思えます。

コロナ終息後の社会に想いを致し、今「できること」を考えるのを諦めなければ、必ずより魅力的なライオンズクラブが創造されると思えます。



12RRC 辻 光治

新型コロナウイルス3年目の今、コロナと共存するためにはまず、ワクチン接種の実施と治療薬を市販で購入でき、自宅で安価な金額で検査が容易に可能となることが重要と思えます。

さらに、対面で社会生活を営むために、室内・室外において人との距離が1m以内であればマスクの着用、飲酒を伴う食事や旅行は距離を保って感染意識を持って各自が感染リスク対応をする。

以上の事を各自が自覚を持って、ライオンズの例会やアクティビティにおいて対面で感染対策を実施しながら社会経済活動を回して、会員相互の親睦を深め、地域社会に向けて奉仕活動を進めていくことが大切ではないかと考えます。

さらには、風邪ひきと同じような環境・状況に早く移行できるようになればと思えます。

9R・10R合同アクティビティ

橋杭海岸の清掃

私たち和歌山県下の全ライオンズクラブは、2017年より9R・10R 会員交流会を開催し親睦を深めておりましたが、2019年に開催する予定であった第3回9R・10R 会員交流会が、新型コロナウイルス感染拡大により、断念せざるを得なくなりました。その後も開催に向け年度毎に引継ぎしながら実行委員会を開いておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まず残念ながら3回連続して中止となりました。

今回この重なる中止を受けて、「実行委員会だけでも清掃奉仕をしよう」という意見が出て、5月20日に橋杭岩並びに橋杭海水浴場の清掃奉仕を実施いたしました。実施にあたり、地元南紀串本観光協会様のご協力、また串本ライオンズクラブの協力もあり、総勢50名程のメンバーで景勝地橋杭岩での清掃奉仕を実施することができました。

当日は津田地区ガバナーエレクト他キャビネット2名にもご参加頂き、メンバーの士気も上がりました。

かねてより実行委員長として「One Team 和歌山」のスローガンの元、和歌山はひとつということとで何かメンバー全員で統一した事業をしてみたい、と考えておりました。

今回は実行委員のみの参加となりましたが、次年度に引き継いでもらい、和歌山がひとつとなってまた何かの事業が出来ればと思っています。

今回、ご参加いただいた皆様にこの場をおかりいたしまして御礼申し上げます、報告にかえさせていただきます。

実行委員長 小森 正剛



各種委員長報告 『ライオンズクラブが新型コロナウイルスと共存するためにはどうあるべきか? ~委員会活動を通じて思うこと~』



GSTコーディネーター/GST・環境保全・献血委員長 古川 繁浩

今年度、正岡地区ガバナーから335-B地区のメンバー合同で友ヶ島の一斉清掃を行いたいというミッションを受け、「気候の良い秋空の下、楽しい清掃奉仕を」と考え企画しましたが、友ヶ島への船が11月まで貸し切れなかったこと、コロナ禍でソーシャルディスタンスを確保するため、乗船率を最大70%に抑えなければならなかったこと、そして何よりも当日の天気は左右され、天候が悪ければ波浪で出航できなくなる等々の障害を乗り越えて、好天に恵まれ地区のメンバーの協力を得て大きな実績を上げることができ、心より感謝申し上げます。また何よりもこの事業で地区メンバーの気持ちがひとつになり友情が育まれたことが地区ガバナーの思いにつながったのではないのでしょうか。

献血奉仕も5月の統計では、昨年の実績より110%を超える採血量を達成いたしました。これも偏に各クラブのご協力の賜物だと感謝いたします。

最後になりましたが当委員会を支えていただいた地区委員にお礼申し上げます。



GLTコーディネーター/GLT委員長 笹部 美千代

GLT委員会は、withコロナで活動を行いました。活動目標に「3つの挑戦」を掲げました。

- ①ライオンアカウント取得によるLEARNの学習
- ②新会員カリキュラムやライオンズの手びきによるクラブ内メンタープログラムの推進
- ③日本ライオンズ大学校講師派遣の活用推進

委員の皆様との協力でメンタープログラムや講師派遣の推進は一定の成果を得ることが出来ました。WEBを利用した学びは、自己学習の機会を得ることを可能にしました。また、各種セミナーの開催や委員会におきましても、Zoomを取り入れたハイブリッドで行うことができました。これは、皆様にとっても出席し易い環境となり、参加者も増えたのではと感じています。すべてのセミナーも滞りなく開催いたしました。Zoomの環境を整えていただきましたこと、委員会の皆様と共に、コロナに強いライオンズ活動を進めることができましたこと、心から感謝申し上げます。1年間有難うございました。



GMTコーディネーター/GMT委員長 高松 順一

今年度もコロナ禍により制限のある中での活動でした。各クラブではWEB参加可能とする動きも加速し、各種ミーティングについても取り組みが進みました。

「会員増強」というテーマに向かい合うとき、対面することが大きな意味を持ち、説明力・安心感・信頼関係は向上します。一方で、多忙につき思うように時間調整がきかないメンバーにとっては、画面であっても顔を見、声を聞くことができる体制に、「退会防止」において一歩を見出した側面があります。入口の工夫と、その後の多様性を尊重する体制によって、今まで以上の価値ある団体になり得ると感じています。

通常はWEB例会とし、数回に一度の対面例会に切り替えられたクラブでは、一堂に会する時間が少ないからこそ、「繋がり」がより強くなった事例もあります。それぞれのクラブメンバーの状況によって最善の方法を選択していくことが、コロナ禍のみならずクラブ運営に求められると考えます。

今後も皆がKAIZENに取り組み、楽しく有意義な活動に邁進していきましょう。



FWTコーディネーター/FWT委員長 大塚 純子

「当たり前が当たり前でなくなりました」

今年度はもっと動けるのではと予想いたしておりましたが、急に凶悪な世となりました。人類に突きつけられたウイルスの脅威は、私達の当たり前が当たり前ではない事を教えてくれました。今まで当たり前であった事を見直していくことが、私たちに課せられました。しかし、今年度の委員会としては、6つの混成クラブを誕生させたことが大きな成果となりました。

リモート会議は委員会においては当たりの事となり、今年度の委員会はリモート5回・ハイブリッド1回・対面1回となりました。会議はパワーポイントを活用することにより充実を図ることができました。又、アイスブレイクを行い委員間の交流を図りました。リモート会議の改良点などについては委員の皆様のご意見を伺い対面で最後の委員会を終えることにいたします。



クラブアシスト特別委員長 高橋 澄代

今年度もコロナで始まり1年が終わろうとしています。クラブアシスト特別委員に関しましては、網目を潜り抜けながら、年間スケジュール通り活動を開催することができました。例会開催はなかなか難しく活動ができなかったクラブも多くありましたが、屋外ということ、コロナが収まっていた時期もあり、335-B BBQでは11月での和歌山マリーナシティ228名・ロジック舞洲512名・5月の春の舞洲567名、総人数1,307名の参加者があり、全クラブ約80%の参加率となりました。会員満足度という観点からも「楽しかった」とお声をたくさん頂き、これをきっかけに他クラブとの交流や合同例会の開催事例の報告もありました。また、今年度は335-B地区同好会が12チーム登録され、進捗状況・活動報告もFacebook・公式アプリにアップされています。引き続き交流を広げていただき335-B地区が盛り上がり「We Serve」に繋がれば嬉しいです。1年間ありがとうございました。



LCIF委員長 齊藤 正実

委員会を開催するにあたりZoomのみで開催したり、ハイブリットで開催したりすることに最初は抵抗がありましたが、LCIF委員会としては委員の皆様から委員会内の伝達事項を伝えるのに全く問題はないし、特に9R・10Rの委員さんにはわざわざ大阪まで来ていただかなくても良かった事はZoomの素晴らしいところだと思います。

また、セミナーにつきまして前年度はリジョン単位での開催でしたが、今年度はゾーンでの研修会とし、ソーシャルディスタンスをとるために大人数にならないように配慮しました。

オミクロン株になり感染力は増していますが、症状の軽い人が増えていますので、マスクやアクリル板での遮断などの対策やZoomの活用などまだまだ必要性があると考えますが、これからは積極的に委員さんどうしの親睦をはかり委員会活動を進めていくべきであると感じています。



会則委員長 岡田 信次

ここ3年間コロナ禍の中、社会も経済も生活も大きく変わりました。ライオンズ活動においては、今までのアクティビティ・例会(対面形式)が、かなり制限され、特に入会の浅いメンバーには、公私ともかなり厳しい時間を過ごされたと思います。

その状況を鑑みて学びの場でもあるライオンズクラブとして、会則委員会はGLT委員会と連携し、GLT委員会作成のライオンズの手引きを活用できるように各クラブにメンター制度の確立をお願いしてまいりました。メンター制度により入会間もないメンバーとメンティー・メンターの関係を構築し、少人数でもできる勉強会に協力させていただきます。

コロナ禍の中ライオンズの原点に立ち戻り、ライオンズの手引きを活用した勉強会、ライオンズ必携による会則例会(会則・付則)の開催を年1回は開催していただくよう、各クラブをお願いしてまいりました。ライオンズをもっと知る事によりコロナ感染拡大が終息したら、新たなアクティビティ等をメンバー全員で考えて、ライオンズライフが今までより、より楽しんで頂ける事を祈念いたします。



国際関係・大会参加委員長 松秋 峰康

新型コロナウイルス感染症により、国際大会並びに東洋東南海アジア・フォーラムは中止になり、国際的な活動に多大な影響がありました。

2022年6月23日からカナダ・モントリオールで開催されます第104回国際大会につきましても、参加人数が少なくなっています。

しかしながら新型コロナウイルスの影響も終息に向かっていくように思われます。当委員会もこの1年間、活動も思うようになりませんでした。今後全世界が新型コロナウイルス発生以前の状態に戻る事を願っています。

紙面の都合上、委員長の並びを変更しております。

各種委員長報告 『ライオンズクラブが新型コロナウイルスと共存するためにはどうあるべきか? ~委員会活動を通じて思うこと~』



MC・IT委員長 浦 吉彦

コロナの影響によりIT化による非対面による会議が主流となり、今までの会議に対する概念が大きく変化しております。

地区に於いてもZoom・ドロップボックスを利用してキャビネット会議を開催するに至っています。

ドロップボックスはペーパーレスを目的に導入していますが、クラウド(インターネット上でのファイル共有)で共有共同作業ができることから、事務局の省力化に期待ができます。ライオンズクラブの一連の流れが、クラウドを利用することにより、メンバー全員が共有できるのです。クラブの事務局さんに任せきりも勿論大丈夫なのですが、退職や休職等でもドロップボックスで共有していれば慌てる必要はありません。

すべてのデバイス(スマホ・iPhone・PC・タブレット等)とすべてのファイルに対応ができていますので、デバイスを操作できる方であれば何ら問題なく共有と修正が可能であり事務処理に改めて人員をおく必要性がなくなります。

これらは、今後のライオンズクラブを背負うであろう30代以下の世代が当たり前のようにやっていることなのです。『我々の常識は、彼らたちにとっては非常識なのです。』若い世代を迎えるためにも、今後のライオンズクラブは常に失敗をしながらでも変化に挑戦していきましょう。

1年間ありがとうございました。



アラート委員長 中尾 斉

新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認された2020年1月から2年が経ちましたが、ウイルスは姿を変えながら、寄せては引く波のように何度も波が襲いました。新型コロナウイルス感染症の蔓延は、社会・経済に影響を及ぼし、飲食等に関しては消毒の徹底や人と人との距離を空けるマスクの着用等の対策が求められるようになり、また、仕事や例会・委員会などもリモートで行われるようになりました。

このような状況の中、ライオンズ活動も制限され本来の活動も思うように進められなくなり、色々と考えさせられました。特にライオンズ活動では年齢・ライオン歴・職業多種多様な委員会メンバーなので、各委員同士の意思疎通ができていなければ活発な活動ができないと強く感じました。

従来の形態も非常に重要ですが、これを機に少人数での会議や時間の見直しなど、スリム化できるところはしていき、古き良き慣習は継続して活動できればと思います。

結びに、コロナ禍が一日も早く終息する事を祈念いたします。



ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 松本 佳久

◎ライオンズクエスト

1. 教育委員会・学校へ普及活動を働きかけることが困難になった。
2. 教育委員会・学校の情報によると、引きこもりや不登校の子どもたちが増加している。
3. その事により「ライオンズクエスト」ライフスキル教育プログラムの重要性を認知していただくチャンスでもある。

4. JYIDによるオンライン式で、先生方を対象としたワークショップを開催する準備ができた。

◎薬物乱用防止

1. 「薬物乱用防止教室」や啓発活動が困難になった。
2. オンライン式で、「薬物乱用防止教室」を開催したクラブもある。対面式と違うリスクも心配されたが「ロールプレイ」もでき、学校から良い評価を得ることができた。また、「薬物乱用防止教室」の打合せもオンラインで行っている。
3. オンライン式での手法を各クラブに伝える事が大切である。



YCE・レオ委員長 森田 茂稔

YCEに関してはコロナの影響で国際交流ができず海外への派遣・受け入れが止まっています。派遣された子は帰国後原則3年間OB生として5Rのサマーキャンプをサポートしていただいています。その経験者がいなくなる可能性があり委員会としては、この期に5Rのサマーキャンプのノウハウを伝承するための事業を行うことの必要性を感じ、青少年育成目的の委員会として日本の高校生(何らかの理由により実の親と一緒に暮らせない子)を対象にキャンプを行います。

また、メンバーの高齢化などの原因によりホストファミリーとして受け入れることが困難な場合の救済措置を、コロナ禍で受け入れられない今、委員会が考えておかなければならない課題だと思います。

レオに関しては、八尾レオクラブ以外の大学生中心のレオクラブ、和歌山レオクラブ・大阪志学台レオクラブ・枚方レオクラブでは4年生が卒業したため会員数の減少が問題でした。

335-BBQに誘ってもいいよと言ってもらい、レオたちは1年生を誘ってくれました。結果、入会してもらって会員数が回復しつつあります。今後はレオ顧問の方々とレオのアクティビティをwithコロナで行っていきます。

会員の皆様にはこれからもYCE・レオ委員会にご理解とご協力をお願いいたします。



ライオンズ慰霊委員長 道上 和弘

木々の緑もいよいよ濃さを増し、1年で最も美しい季節を迎えた高野山で第47回故ライオンズ慰霊祭を無事開催することができましたのは皆様の多大な協力の賜物と心より感謝申し上げます。

コロナ禍で過去二年は中止を余儀なくされたり、人数制限によるリモート開催でありましたが、今年、同じコロナ禍でありながら開催できたのは、ワクチン接種もさりながら、ライオン一人ひとりの予防・三密の回避の遵守に他なりません。

ライオンズクラブがコロナウイルスと共存するためにどうあるべきかを問う時に、ライオン一人ひとりがコロナウイルスと向き合い、予防のためにはどうしなければならないかを日常生活の中で考え、実行していく他にないと痛感いたしました。

賢明で思慮深い一人ひとりのライオンが、社会規範となるライオンズクラブ全体であり、コロナウイルスと共存していく今後の世界の指針となるよう、これからの皆様の活躍を共に願うものであります。



年次大会委員長 畑中 益男

皆様のご協力を頂き第68回335-B地区年次大会を無事挙行出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。昨今のコロナウイルス感染状況の中、様々な不安もございましたが、正岡地区ガバナーの思いのもと、ご尽力頂きましたメンバー全員の努力をもって、盛大に執り行うことができました。地区ガバナー方針に基づき、式典は厳かにライオンズ運営に相応しく、アトラクションでは「吉本新喜劇」の公演でご家族様、ご友人様にも楽しい時間を過ごしていただく事ができ、そして晩餐会では、メンバー相互の親睦をより深められたものと思います。

例えば今回の新型コロナウイルス感染のような色々な事案が起こっても、手洗い、マスクの着用など基本を大切にメンバの皆様の豊富な知識と経験を生かして乗り切れることと思います。

この1年、メンバーの皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。有難うございました。

紙面の都合上、委員長の並びを変更しております。

キャビネット三役 クラブ例会訪問

地区内2,200キロを走破しました!!

正岡地区ガバナーの最重要取組み課題である「会員満足度向上」の一環として、例会リニューアルを念頭に例会訪問を行いました。

各クラブに共通していることは、ゾーン単位で同じ次第による進行が多く見受けられました。これは親クラブが子クラブへ教えた歴史から考えると当然ではありますが、他のリジョンやゾーンのクラブを訪問した方が少ないため、地区内のクラブが自分達と同じことをしているという錯覚と、例会は「変えてはいけないもの」という暗黙のルールみたいなものが存在する気もします。

訪問時に他クラブの事例をお話すると驚かれることも多々あり、リニューアルという180度方針転換するのか?という受け止めの方もおられました。スタンダードな進行の中にもメンバーが発言する機会を多く取り入れるなど、工夫しておられるクラブ例会もありました。

正岡地区ガバナーが伝えたかったことは「辞めたくないクラブ」「人を誘いたくなるクラブ」「見学に来た方が楽しそうなので入ってみようかな」と思えるクラブ運営にKAIZENして頂きたいということです。

限られた時間の中ではありましたが、訪問させて頂いた全てのクラブは仲良く活動しておられます。

いくら良いことでも延々と続けるとマンネリ化します。

「今日の例会はどんなことがあるかな?」とメンバーが楽しみにするような例会運営になりますようお願いしております。

キャビネット幹事 森田健一郎

※周年記念・クラブ結成・アクティビティ出席は除きます。距離は、吹田江坂LC事務局を出発点に自動車移動で換算しています。

●7月1日(木) 和歌山伏虎LC

【場所】 ルミエール華月殿

会長になり初めての例会で非常に緊張しているところ、正岡地区ガバナー他キャビネットの皆様、9R・10Rの多くのメンバーに訪問いただき、普段は参加者が少ない例会が50名程で参加いただきました。

新会員の入会が2名あり、正岡地区ガバナーからピンの贈呈を行っていただきました。



●7月8日(木) 堺美原LC

【場所】 都シティ大阪天王寺

新会員9名と再入会2名の入会式を行い、正岡地区ガバナーよりピンを贈呈していただきました。また、賛助会員から2名が一般正会員に会員籍を変更され、13名が新たに一般正会員としてスタートしました。



●7月20日(火) 大阪島之内LC

【場所】 ラ・フェット ひらまつ

9名の入会式を行い、正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈をしていただきました。

これほど多くの新会員を期首に迎えられ、キャビネット三役様・RC・ZCに見守られながら盛大な入会式を行うことができ、今年度のスタートがとても活気づきました。



●7月21日(水) 箕面LC

【場所】 箕面観光ホテル

2名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



●7月21日(水) いずみそれいゆLC

【場所】 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津

この日の例会は、「ハーバリウム体験」の日となっていたため、キャビネット三役・第1副地区ガバナー他出席者と一緒にハーバリウムを作りました。



●7月27日(火) 大阪北LC

【場所】 プラザオーサカ

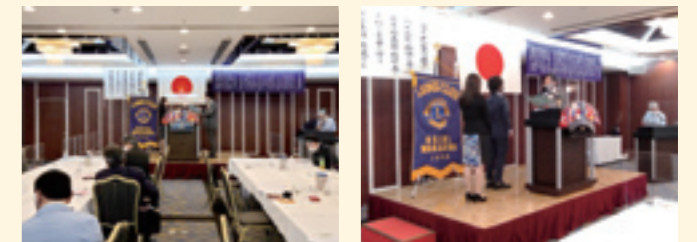
正岡地区ガバナーより友人をご紹介いただきました。また、年に一度のスポンサークラブ豊中LC会長・幹事の例会訪問の日でもあり、皆さん和気あいあいと話されていました。最後にじゃんけん大会をして正岡地区ガバナーからお土産の梅酒をいただきました。



●7月27日(火) 大阪若獅子LC

【場所】 プラザオーサカ

神谷紘子さんの入会式をとりおこない、正岡地区ガバナーより歓迎のメッセージやスポンサー感謝状を贈呈していただきました。



●7月29日(木) 大阪狭山LC

【場所】 SAYAKAホール

2名の女性正会員の入会式を行い正岡地区ガバナーよりピンの贈呈と歓迎の言葉がありました。

また、当日の見学者(女性1名)が、無事10月に入会されました。



● 7月30日(金) 堺フェニックスLC

【場所】 ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺

10名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



● 10月29日(金) 堺フェニックスLC

【場所】 アンジェリカノートルダム

中世ヨーロッパ風の結婚式場「アンジェリカノートルダム」でハロウィン例会を行いました。当日はハロウィン仮装でお越しいただきありがとうございます。地区ガバナーにはご挨拶を頂戴しました。



● 8月10日(火) 高槻LC

【場所】 高槻商工会議所

新型コロナウイルスの関係で例会は中止しましたが、小人数で和気あいあいの中、3名の入会式を行いました。新会員 寺田健治の挨拶で「私は、父の姿を見て、ライオンズクラブに入会することを決めました。父を尊敬しているので、間違いないクラブだと思っています。」と涙ながらに話されたことに、正岡地区ガバナーがとても感動されていました。



● 11月2日(火) 大阪帝陵LC

【場所】 都シティ大阪天王寺

1名の入会式を行い正岡地区ガバナーよりピンの贈呈がありました。



● 10月14日(木) 豊中北LC

【場所】 ホテルアイボリー

入会式を行い、正岡地区ガバナーより新会員にお祝いの言葉をいただきました。



● 11月2日(火) 泉南中央LC

【場所】 スターゲイトホテル関西エアポート

キャビネット三役訪問に合わせて阪南支部結成式、並びに3名の入会式を執り行いました。正岡地区ガバナー、中谷前地区ガバナーをはじめ多くのご来賓にご臨席を賜り、式典は大盛況で阪南支部の良き船出となりました。



● 10月21日(木) 八尾菊花LC

【場所】 八尾商工会議所

当クラブ結成以来、初の女性会員が2名入会しました。入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



● 11月12日(金) 大阪プラムLC

【場所】 アートホテル大阪ベイタワー

90歳になったメンバーのお誕生のお祝いをしました。メンバーが紙芝居を披露しました。



● 10月28日(木) 茨木ローズLC

【場所】 割烹 片桐

この日は100%出席を達成でき、とても楽しい例会になりました。



● 11月18日(木) 7R交流合同例会

【場所】 ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺

正岡地区ガバナーのご挨拶をいただき、7R交流合同例会が盛り上がりました。コロナ禍の大変な時節でしたが、工夫を凝らし開催することができました。



● 11月25日(木) 東大阪LC

【場所】 クラブ事務局

3名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。又、会食時に地区ガバナーと新会員及び会員と親睦を図りました。



● 12月7日(火) 大阪さくらLC

【場所】 新宿ビル「春夏秋冬」

1名の入会式を行い、正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈があった。正岡地区ガバナーから頂いたお土産を景品としたじゃんけん大会を開催。地区ガバナー自らがプレゼンターとなっただき、大盛り上がりしました。例会を楽しんだ一日となりました。



● 12月7日(火) 池田LC

【場所】 池田商工会議所

入会式にて正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。東大阪河内LCよりお米を拝受し、子ども食堂へ贈呈しました。



● 12月8日(水) 大阪難波LC

【場所】 スイスホテル南海大阪

1名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



● 12月9日(木) 茨木オークLC

【場所】 割烹 片桐

正岡地区ガバナーが気さくな方で楽しい例会になりました。



● 12月11日(土) 大阪ドリームLC

【場所】 ホテル阪神大阪



● 12月14日(火) 大阪コスモスLC

【場所】 阿倍野 吾作どん

クリスマスオークションの開催。レオ出身者の参加。

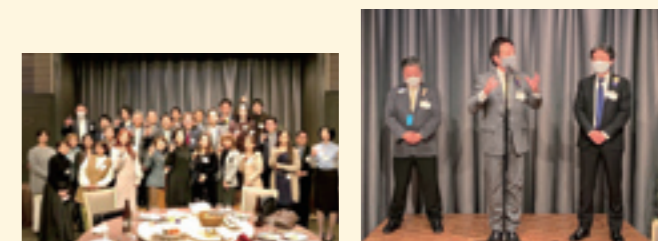


● 12月15日(水) 大阪CONNECT LC

【場所】 中之島LOVE CENTRAL

ノンライオンのゲスト12名の参加で盛大な例会となりました。

自己紹介をしていただき、ライオンズクラブの意義、活動の紹介等を行いました。ノンライオンの皆さんにライオンズクラブに興味を持ってもらい、入会を促すという目的の例会となり、2名が入会に至りました。



● 12月23日(木) 島本LC

【場所】 ホテルグランヴィア京都

新会員の入会式を行い、地区ガバナーに歓迎の詞を頂戴しました。

新会員L阪下が地区ガバナーズローガンの「KAIZEN」に大変感銘を受けていました。



● 1月5日(水) 紀伊田辺LC

【場所】 田辺市「銀ちる本店」

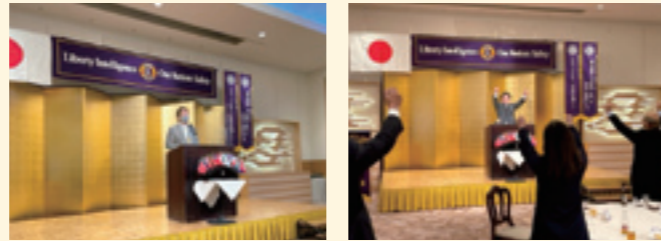
2名の入会式を行い、正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



● 1月11日(火) 堺LC

【場所】 住吉大社迎賓館

新年のご祈禱と一緒に受けていただきました。「年男・年女」のメンバースピーチを行いました。



● 1月19日(水) 大阪LC

【場所】 リーガロイヤルホテル大阪

新年例会でヴァイオリン・フルートの演奏家を招き、演奏会を楽しみました。



● 1月20日(木) 大阪中部LC

【場所】 アートホテル大阪ベイトワ

当日は「一日役員例会」でした。ご訪問者には抽選でお席を決め、普段一緒に座らない方と同じテーブルになり、お話がはずみました。会長代行より、当クラブ70才以上の占める割合が79%である事をグラフと共に警告しました。メンバー・スピーチは、税理士のメンバーが節税について、テール・ツイスターの活躍では、弁護士のメンバーが海外の裁判事例を紹介しました。



● 1月25日(火) 大阪すみのえLC

【場所】 住吉大社吉祥殿

当クラブ最年少入会者(23歳)の入会式の予定で正岡ガバナーにお越しいただきましたが、新会員が急遽欠席となり、ピンを直接贈呈いただくことができませんでした。しかし、正岡ガバナーと親睦を深める例会となり会員一同感激いたしました。



● 1月27日(木) 四條畷中央LC

【場所】 福寿山 魚捨

2名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈があった。RC、ZC他ご出席をいただき、コロナ感染防止対策を実施しながらいつもの例会とは違った雰囲気を味わうことができました。



● 2月16日(水) 大阪浪速LC

【場所】 スイスホテル南海大阪

正岡地区ガバナーはじめ6名をお迎えして、新会員の入会式を行い地区ガバナーより「歓迎の言葉とピン」を贈呈いただきました。また、メンバー全員のあたたかい歓迎の言葉を受けて、新会員のL宮本和明は感激していました。本当にありがとうございました。



● 2月16日(水) 豊中 LC

【場所】 ホテルアイボリー

2名の入会式の予定でしたが、1名コロナの濃厚接触者となり当日欠席となりました。1名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員のピンの贈呈がありました。



● 2月22日(火) 大阪戎橋いとはんLC

【場所】 スイスホテル南海大阪

テールツイスターの活躍に続き、正岡地区ガバナーによる「じゃんけん大会」で、プレミアア賞品を目指し盛り上がり、楽しい例会になりました。有難うございました。



● 3月24日(木) 守口LC

【場所】 ホテル・アゴラ大阪守口

3名の入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈がありました。



● 4月5日(火) 大阪東住吉平野LC

【場所】 ホテルトラスティ大阪阿倍野

当クラブは、少人数ですが正岡地区ガバナーから、人との繋がりを大切に、意味ある楽しい出会いを作って行こうと、他のクラブの事例を交えながら、力強いお言葉をいただきました。森田キャビネット幹事・花房キャビネット会計より会員獲得のYouTubeを利用するアドバイスをもらいました。例会の雰囲気を盛り上げていただき感謝しています。



●4月7日(木) 茨木LC

【場所】 迎賓館

1名の入会式があり、正岡地区ガバナーよりピンの贈呈がありました。ラッキーカード抽選会と募金箱によりウクライナ避難民の支援金16万程が確保できました。



●4月21日(木) 大阪帝塚山LC

【場所】 ヤマダカフェ

住吉文化事業実行委員会の方を招き、「令和4年度すみよしの魅力補助金事業」の説明を聞いた。



●4月9日(土) 八尾菊花LC

【場所】 KKRホテル大阪

大阪城の桜を満喫できる例会となった。7名の合同入会式を行い正岡地区ガバナーより新会員にピンの贈呈があった。1027回新年家族例会及び1034回例会において各1名の入会があり、今年度の新会員は11名となった。



●4月28日(木) 枚方ローズLC

【場所】 枚方ビオルネ

新クラブの交野おりひめLCへ、当クラブから2名転籍したので、そのお礼とご挨拶に来られました。



●4月13日(水) 5クラブ合同

【場所】 都シティ 大阪天王寺

コロナの感染拡大の影響により、イベント等が多々延期や中止になっていたが、やっと5クラブ(羽曳野LC・大阪コスモスLC・大阪さくらLC・大阪帝陵LC・大阪阿倍野LC)で規模が大きい例会を開催することができ、皆様のお顔を直接拝見できたことが嬉しく感じた日でした。



●5月12日(木) 岸和田コスモス LC

【場所】 岸和田グランドホール

支部に入会予定の方も参加いただき、和やかな例会でした。



●4月17日(日) 東大阪河内LC

【場所】 ホテルニューオータニ

正岡地区ガバナーをはじめ25名の訪問をいただき、3名の入会式を行いました。これからのクラブを担う若手を鼓舞するような素晴らしいお言葉の数々を頂戴し、在籍しているライオンも改めて背筋がピンと張る思いでした。皆さんに持ってきていただいたドネーション(お酒や傘など)を正岡地区ガバナーと戦うじゃんけん大会方式で配布させていただきました。



●5月13日(金) 3・4R合同

【場所】 ホテルロイヤルクラシック

3・4R内20クラブから多くのメンバーが集まり、メンバー間の交流を目的として開催しました。当日の席はクラブ単位ではなくじ引きで席を決め、より多くのメンバーと知り合える機会になったと思います。交流会第一部では、ライオンズクラブ大学校講師派遣制度を利用し北畑英樹の「笑いの医学的効用」の講演会も行いました。



●4月19日(火) 2R1Z合同

【場所】 ホテルモンテラ・ラスール大阪

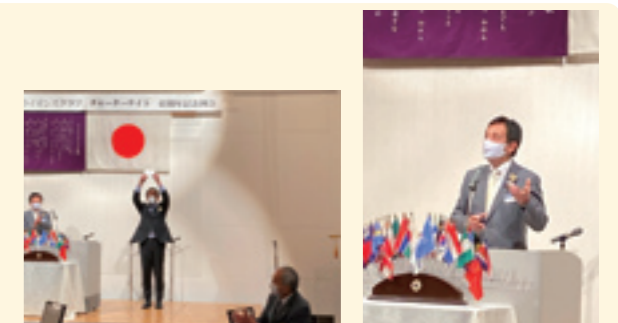
今年度1Z各クラブに入会された新会員を壇上にて紹介しました。コロナ禍での制限がある中でしたが、9クラブ合同で開催することができ、特に今年度は交流し情報交換・情報共有を心掛けておりましたので、ゾーンの一体感が感じられる楽しく和気あいあいとした合同例会になりました。



●5月25日(水) 大阪新大阪LC

【場所】 新大阪ガーデンパレス

第991回例会はCN41周年記念例会として開催し、キャビネット三役にご出席いただきました。節目ではないチャーターナイトでしたが、キャビネット三役にご出席いただき盛会となりました。



第47回物故ライオンズ慰霊祭

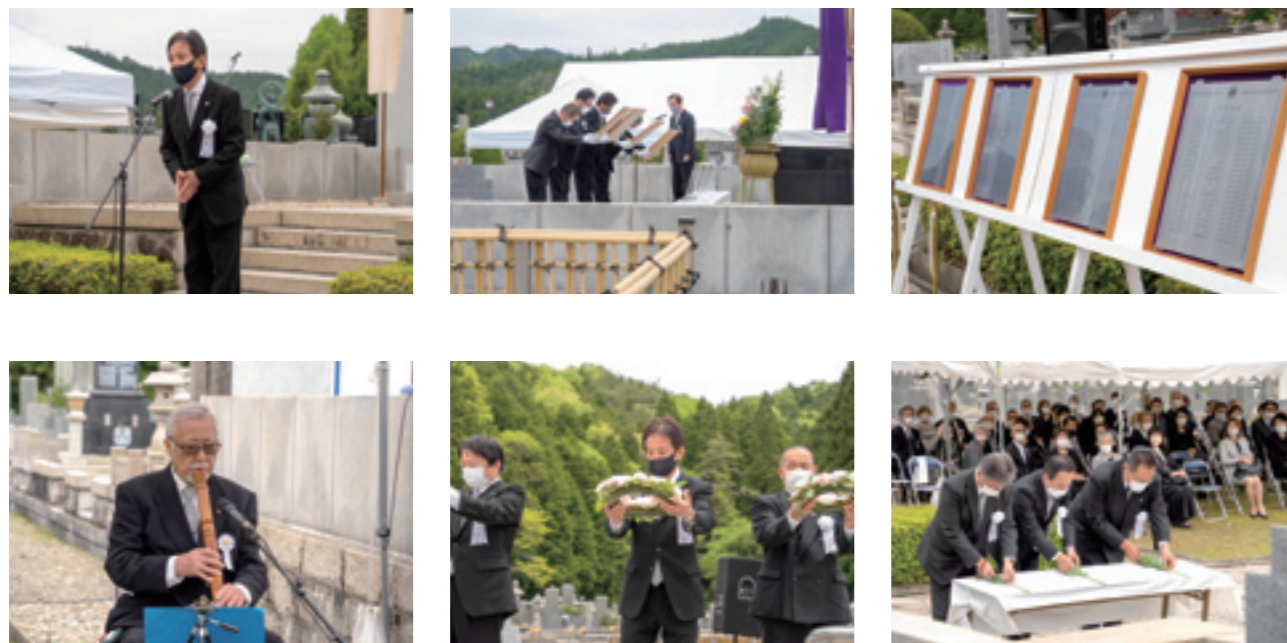
5月15日(日)高野山大霊園内にある大阪府・和歌山県 物故ライオンズ慰霊碑前において第47回物故ライオンズ慰霊祭が厳かに挙行されました。

2021年3月から本年2月末日までの物故ライオン72名、推薦物故22名のご芳名を刻んだ刻銘版を慰霊碑に謹んで納め、正岡地区ガバナーが慰霊の詞を捧げました。

今年は、人数制限をさせていただきましたが、ご遺族様参列をいただきましたこと感謝申し上げます。



高野山大霊園 大阪府・和歌山県 物故ライオンズ慰霊碑前
5月15日(日)11時15分～12時15分



豊中6クラブ

「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」を締結

6月22日、社団法人 豊中市社会福祉協議会と豊中6クラブ（豊中LC、豊中中央LC、豊中南LC、豊中北LC、豊中千里LC、北摂ローズLC）との間で、「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」が締結されました。

事の始まりは、2015年5月17日。関西広域連合とライオンズクラブ国際協会335複合地区が「ボランティア支援に関する協定書」を締結、さらに2020年9月15日に全国社会福祉協議会の方針として、各市町村の社会福祉協議会と地域のライオンズクラブが、同協定の締結を進めることになりました。

2018年の大阪北部地震では豊中市内でも被害があったほか、南海トラフ巨大地震の発生も懸念されており、協定書締結で災害時の迅速な対応を目指します。協定では、災害発生後、会員の特性を生かした物的および人的支援を提供すること、各地から集まるボランティアのための食糧・飲料や資機材をライオンズクラブ側が提供することなどが盛り込まれました。異業種のメンバーで構成されたライオンズクラブの人材、資源調達、情報入手のノウハウを活用する貴重な機会でもあります。

今回の調印式では、災害時に各種窓口となる地域の社協と、地元のライオンズクラブが顔のわかる関係を作っておき、災害時にスムーズに連携をとれるようにすることも狙いで、アラート委員会の指導の下、1Zゾーン・チェアパーソン齋藤精治が社協担当者と交渉し、豊中6クラブの理事会でも承認いただき、一同参加しての調印式を行う運びとなりました。

調印式当日、市社協の永井敏輝会長からは「ライオンズクラブが災害時のボランティア活動を支援していただける事は非常に心強い。」と感謝の言葉をいただきました。また読売新聞に調印式の模様が掲載されました。

災害時に迅速に対応する為に、豊中6クラブの各会長と豊中市社協の担当窓口が直接顔合わせでき、大変有意義な事業となりました。

5R1ZZC 齋藤精治

